

平成26年度日本農芸化学会東北支部シンポジウム

「植物ホルモン研究の”New Era” -分子レベルでの新展開」

日時:平成26年7月19日(土)

会場:山形大学農学部(山形県鶴岡市若葉町1-23) 301 講義室
(参加費無料)

プログラム

13:20~13:30 開会の挨拶

日本農芸化学会 東北支部 支部長
西森 克彦(東北大学大学院 農学研究科)

13:30~14:10 ジベレリン生合成初期段階の組織特異性の意義
豊増知伸(山形大学 農学部)

14:10~14:50 ストリゴラクトンの生合成と動態
山口信次郎(東北大学大学院 生命科学研究科)

14:50~15:30 イネのジャスモン酸応答性転写因子RERJ1の虫害抵抗性
反応における機能

宮本皓司(帝京大学 理工学部)

《休憩 10分》

15:40~16:20 アブシシン酸シグナル伝達の制御基盤と植物制御への
応用展開

宮川 拓也(東京大学大学院 農学生命科学研究科)

16:20~17:00 植物のオーキシン恒常性維持のメカニズム-生合成と代謝
における最近の話題から-

増口 潔(理化学研究所 環境資源科学研究センター)

17:30~19:30 懇親会 (懇親会費は当日、会場受付で徴収予定)

主催:日本農芸化学会東北支部

共催:山形大学農学部,日本生物工学会北日本支部

問い合わせ先:山形大学農学部食料生命環境学科 三橋 渉

電話:0235-28-2868(三橋)

E-mail: wmitsu@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp